

## 平成26年山武市教育委員会第7回定例会会議録

1. 期 日 平成26年7月16日(水)
2. 場 所 山武市教育委員会庁舎会議室
3. 開 会 午後3時31分
4. 出席委員 委員長 五木田 孝義  
委員長職務代理者 小野崎 一男  
委 員 高橋 尚子  
委 員 高柳 善江  
委 員 小川 一成  
教育長 嘉瀬 尚男
5. 欠席委員 なし

### 6. 議場に出席した職員の職及び氏名

教育部長	渡邊 聰
教育総務課長	小川 宏治
学校教育課長	齊田 謙一
学校教育課指導室長	小高 幸弘
生涯学習課長	土井 紀子
スポーツ振興課長	川島 勝喜
子育て支援課児童家庭係長	松本 清

#### 事務局

教育総務課総務企画係長	秋葉 一徳
教育総務課総務企画係	鵜澤 秀己

7. 開会 委員長が挨拶し午後3時31分開会を宣する。

#### 日程第1 ○会議録署名人の指名

五木田委員長が議長となり、高橋委員を指名する。

#### 日程第2 ○会議録の承認

教育委員会第6回定例会の会議録、教育委員会第3回臨時会の会議録を全員異議なく承認。

### 日程第3 ○教育長報告

報告書に基づき、6月25日から7月16日までの主な業務内容について報告。(主な点は次のとおり)

6月25日 広域行政組合教育委員会臨時会に出席した。

同日夕方、教育長就任式が市役所大会議室であった。

26日 指導室訪問が南郷小、27日に豊岡小であった。所用により両日とも午前中のみ  
の出席となった。

27日 千葉県都市教育長協議会全大会・分科会がポートプラザちばで行われた。こ  
こでは、主に県に対する要望書の内容確認とチェックを分科会で話し合った。その  
後、意見交換会があり県教育長、委員長、県の課長等と名刺交換をし、挨拶をさ  
せていただいた。

28日 さんぶの森中央体育館で青少年相談員主催のドッジボール大会があった。市内  
357名の参加があった。

30日 山武市学校給食センター運営協議会が開催され、新たな委員に委嘱状の交付を  
行った。

7月 1日 近隣教育委員会へ就任挨拶を行った。

2日 東上総教育事務所へ訪問し挨拶をし、前日に引き続き近隣教育委員会へ就任挨  
拶を行った。

同日、第1回山武市図書館協議会があり、新たな委員に委嘱状の交付を行った。

3日 庁議があり、今回初めて参加した。この日からタブレット端末を使い、ペーパ  
ーレス会議が行われた。しかし、全然うまくいっていなかった。システムが十分  
にできていないということで、今後、改善して紙をなくした会議にしていくそう  
である。

同日、防災会議が開かれた。

4日 日韓交流見送りがあった。鳴浜小が以前から行っている韓国の半月小学校の関  
係の事前打ち合わせということで、鳴浜小の南風野校長並びに日韓交流協会の清  
宮氏等が韓国に行くということで、教育長が変わった挨拶の手紙と簡単なお土産  
を用意し見送りを行った。

5日 第65回山武郡市民体育大会代表選手団激励式があった。

8日 ENJOY CAPの滝川氏が来庁した。CAPについては皆知っていると思うが、現  
在いじめ対策の基本方針を作っており、そこにCAPを積極的に入れて欲しいとい  
う要望書の提出があった。

同日、青少年育成市民会議役員会があった。私が理事として承認を得ていたが、  
教育長に就任したということで辞退をした。

9日 学識経験者による教育委員会事務の点検・評価があった。今回、学識経験者3名が変更になった。これは前回報告し承認を受けているが、城西国際大学の七井教授、元緑海小校長の並木氏、道の駅オライはすぬま駅長の木島氏の3名が新たな学識経験者ということで、たくさんのご指摘をいただいた。主だったものは、以下のとおりである。ホームページでいろいろ情報発信しているが、事後報告でタイミングがずれているので更新をきちんとして欲しいという要望。教育委員会の学校訪問をできれば全校にという要望。まちづくり講座がたくさん行われている。その中でせっかく受けた講座の成果を活用できる機会を設けて欲しいとの要望。山武市の市史の編纂をしているが、地元の歴史を小中学校でも教えてもらいたいとの意見。奨学資金を2回に分け申請しやすいようにしたが、合格してから申請までの期間が非常に短いということで合格前の仮受付をしたらどうかという意見。今の教育の中では、一番下の子に合わせた形になっているが、優秀な子をさらに伸ばす環境づくりを是非していただきたいとの意見。その他にもたくさんあるが、だいたいこのような形で指摘をいただいた。詳しいことはまた資料が出ると思う。

教育委員会第4回臨時会の後、文教厚生常任委員及び市校長会との教育委員懇談会については、全委員が参加しているので特に説明はしない。

10日 少年海外派遣団結団式及び第1回事前研修会が、台風の影響で18日に変更になった。

11日 校長会に出席した。今回は、トラックの日ということで千葉県トラック協会の絵画コンクールについて、青少年育成市民会議会長の小山氏が来てスプリングフェスタ並びに中学生のメッセージについての協力依頼があった。

同日に予定されていた、山武警察署管内学校警察連絡委員会夏季研修会が台風の影響で中止になった。

13日 第9回山武市剣道選手権大会があった。

14日 山武市長の母が亡くなり、14日に通夜、15日に告別式が行われた。

16日 教科用図書山武採択地区協議会(第2回)が午前9時30分から午後2時30分まで行われた。山武教育会館へ五木田委員長とともに出席した。無事に全教科の図書が決定した。議案にも載せてある。

五木田委員長：議案第1号「要保護・準要保護児童生徒の認定について」は、公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたい旨、提案。

(「異議なし」の声)

#### 日程第4 ○議決事項

##### 議案第1号 平成27年度教科用図書の採択について

学校教育課長：平成27年度に使用する教科用図書を採択することについて、山武市教育委員会組織規則第6条第1号に教科用図書採択に関することとあり、議決を求めるものである。提案理由については、平成27年度の使用に係る学校教育法第34条及び同法附則第9条に規定する教科用図書について、平成26年度教科用図書山武採択地区協議会の決定に基づき採択することについて、教育委員会会議の議決を得ようとするものである。予定としては、今年度は小学校、来年度は中学校が採択の予定となっている。審議をお願いする。

※原案のとおり承認。

#### 日程第5 ○協議事項

##### 協議第1号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

学校教育課長：資料に基づき、新規申請分(4世帯5名)について説明。

※新規2世帯3名について認定。

##### 協議第2号 社会体育施設の一部を出張所として使用することについて

スポーツ振興課長：資料に基づき協議内容を説明。平成26年6月27日付けの文書で企画政策課長から、蓮沼スポーツプラザ多目的室を蓮沼出張所として、蓮沼庁舎等解体撤去工事中に借りたい旨の要望があった。理由としては、蓮沼出張所周辺の公共施設は蓮沼中の校舎を除き低層の建物であり、地区住民が安心して津波から避難できる施設がない状況にある。また、この付近は平成24年3月に発行された津波ハザードマップでは、5mを超える津波の場合で浸水する恐れもあることから、蓮沼中央会館を含む蓮沼出張所を取り壊し、同じ敷地に出張所等の機能を持たせた津波避難施設の建設が予定されている。このため、避難施設が完成するまでの間、教育部所管の社会体育施設の一部(蓮沼スポーツプラザ1F多目的ホール)を、蓮沼出張所の事務所として使用することについて検討をいただきたいとのことである。今後の予定では平成28年2月に引っ越しを予定している。工事の関係では、解体撤去工事として成27年3月から9月末まで、建設工事を平成27年12月から平成29年2月末まで予定している。その間、蓮沼スポーツプラザ1F多目的ホールを平成27年3月から平成29年3月まで借りたいというものである。審議をお願いする。

※原案のとおり了承。

## 日程第6 ○報告事項

### 報告第1号 ICT環境整備について

学校教育課指導室長：6月18日の教育委員会第6回定例会でも説明したことであるため要点のみ説明する。ICT環境整備について、PCの整備予定台数はタブレットPCを全ての小中学校に、概ね1クラスの人数分を基本に配置する予定である。配置予定の機種は、HP社の最新型の10.1インチ程度の大きさのものを考えている。機器整備については、特筆すべきは「ぼうけんくん」についてである。「ぼうけんくん」とは手鏡のような形をしているが、いわばビデオカメラのようなもので手元の作品や文字などを大型のモニターに投影して使うことができるものである。静止画だけではなく動画にも対応しているので、個別学習を集団で共有したり鑑賞、評価したりすることができる。教育情報システムについては、センターサーバー化を進めるので情報セキュリティの強化が図られ、事務の効率化やコストの削減が可能になる見通しである。また、校務支援システムによりデータの一元化や事務の効率化、職員の負担軽減が図られる。したがって、児童生徒と向き合う時間の確保が可能となる。ICTサポートについては、専門知識をもった外部人材である。平成26年度については、平成27年1月から3月まで、本年度の3学期に1校につき7回の支援が入る予定である。支援内容は、主に授業支援や校務支援、教職員の研修を担当する。平成27年度以降の支援体制については、市校長会から6月13日に教育長あてに要望書が提出されている。ICTについて、直接支援をしていただける人材の派遣を、引き続き実現していただきたいとの内容である。具体的には、人材の派遣を予算化、事業化を進めて欲しいとのことである。平成27年度で目指しているところは、週2回、年間80回程度の予算化を目指していきたい。6月の市議会においては、川原議員から支援をしっかりと体制をするようにとの温かい言葉もいただいている。次に、具体的な業者選定についてはプロポーザル方式で行う。7月1日、市ホームページに選定方法がアップされた。現在6社が仕様書を取りに来ている。今後、8月4日にプロポーザルを実施し、1社70分程度でプレゼンを行う予定である。8月11日を目安に選定結果を通知する予定である。8月の教育委員会定例会では、財産の取得ということで議案として諮りたい。9月議会の議案として提案できるよう準備をしている。現在、進行中である情報化推進会議について、同会議は平成24年度に各学校のICT担当者等で立ち上げたもの。平成26年度は、さらに校長会、教頭会、養護教諭、事務職員等も加え組織の拡充、深化をさせてきた。今年度は6月18日に蓮沼中で、デジタルペンを使った授業を行い、効果的であったところや課題等について研究、討議を行ってきた。さらに7月から8月にかけて、全ての学校を対象に学校の情報化推進のための校内研修会を実施している。本日までに2校の研修が済んでいる。この研修会の講師は、学

校教育課の職員が担当し、子どもたちをとりまく情報化社会の危険性を伝えたり、12月に配備される情報環境について説明を行っている。校務支援の使い方や児童支援についての見通しについても説明している。研修の参加者からは、前向きに取り組んでいきたいとの感想が多く寄せられている。この方向性が確かなものであると確信している。

小川委員：ICT化、タブレット化については大賛成である。これをやったから、万全であるとか、学力があがるという訳ではない。多額の予算をかけて子どものためということとは良くわかる。ただ、基本を忘れてはいけないということ、教育委員の辞令をいただく時に、市長にも話をさせていただいたが、私の36年間の教員生活で中学校の場合、学校が荒れたら絶対に学力はあがらない。小学校の場合、学級崩壊している学校では絶対に学力はあがらない。子どもたちの生活も保障できない。子どものためになるかどうか基準である。ICT化、タブレット化は大いに進めるべきであるが、本当の基本の部分を教育委員会、教育委員が忘れてはいけないと思っている。そういった点も含めて皆さんで考えていきたいと思う。

#### 報告第2号 市内小中学校運動会・体育祭の出席について

学校教育課長：資料に基づき、2学期(9月6日から11月1日まで)の市内小・中学校等の運動会、体育祭の日程を説明し、各委員の出席校(園)について確認を行った。

※各委員の出席校(園)については以下のとおりとなった。

- 9月 6日 成東東中(高橋委員)、山武中(高柳委員)、蓮沼中(小川委員)、  
松尾中(小野崎委員)
- 9月13日 山武南中(五木田委員長)
- 9月20日 松尾小(小野崎委員)
- 9月27日 成東小(小川委員)、緑海小(五木田委員長)、鳴浜小(高橋委員)、  
睦岡小(教育長)、大平小(小野崎委員)、蓮沼小(教育部長)、  
山武西小(高柳委員)
- 10月 4日 日向幼稚園(教育長)、なんごうこども園(小川委員)、  
まつおこども園(小野崎委員)、おおひらこども園(五木田委員長)、  
しらはたこども園(高橋委員)
- 10月11日 なるとうこども園〔3～5歳〕(小野崎委員)
- 10月18日 むつみのおか幼稚園(高柳委員)
- 11月 1日 なるとうこども園〔0～2歳〕(高橋委員)

※順延等により都合がつかなくなった場合は、事務局に連絡し調整を図ることとする。

### 報告第3号 少年海外派遣研修学校別参加者数について

生涯学習課長：6月14日と17日に応募のあった子どもたちに対して面接を行った。応募者は26名であったが、面接日の当日に1名から辞退の連絡があり、25名の子どもたちの面接を行った。その結果は資料のとおりである。

### 報告第4号 第9回さんむロードレース大会について

スポーツ振興課長：資料に基づき、第9回さんむロードレース大会について説明。昨年度と違う点を報告させていただく。まず、参加費について説明する。種目番号5番の親子の部で1,000円を1,500円に、種目番号8～20番で一般を3,000円から3,500円に、高校生を1,500円から1,700円に参加費を上げさせていただいた。次に、スタート時間を変更した種目について説明する。種目番号8～14番の10kmの部で10時13分スタートを10時10分スタートに、種目番号15～20番の5kmの部で10時20分スタートを10時40分に変更している。どうしても10km、5kmでランナーが重なる部分があったので、なるべくそれを避けるといった中でスタート時間を変更させていただいた。基幹バス、シャトルバスの運行経路の関係でスタート時間に重なる部分があったが、昨年度からコースを外していただけるようになった。ゲストランナーについては、以前にも来ていただいたことがあるが、人気があったということで再度、エリック・ワイナイナ氏にお願いした。無料配布しているイワシつみれ汁が好評であるため、10kmを走り終わったランナーが最後に食べられないといった苦情があったので、今年は引換券を配布して参加者全員にいきわたるようにして、一般の方については、無料ではなく50～100円程度いただくことを考えている。

高橋委員：山武市の子どもたちは今年も無料か。

スポーツ振興課長：山武市の子どもたちのエントリー費は無料である。

### 報告第5号 平成26年度こども園・幼稚園職員研修について

学校教育課指導室長：資料に基づき、平成26年度こども園・幼稚園研修について説明。

上の6つが全体で行う研修となっている。7番目にある園長・副園長等の研修視察であるが、8月に行うもので、先進的な経営を行っている園長のお話を伺ってくる。真ん中5つの研修については主任研修会である。その下7つの研修については、それぞれの担当者が参加する研修となっている。一番下にある指導案作成研修であるが、4月から現在まで実施していないが、これから予定しているもので、この研修には、指導室からも参加して指導を展開したいと考えている。

小野崎委員：研修の話に関連しているが、他から研修に来た時のこども園の視察費というのはいらないか。最近すごく多いようだが。資料代とか何かもらうことを考えた方がよいのでは。

高橋委員：資料代をもらってもいいのではないかと思ったが、視察に来た方にとっては、資料代をとる、とらないがその後の評判に関わると聞いた。

小野崎委員：1,000円なら1,000円をもらった方が、来た方も受けた方も後々すっきりする。お礼を考えてしまうのではないか。

教育総務課長：横浜市は、はっきりして受け入れる時はお金をいただくという姿勢である。多くの件数をこなしているので、受け入れはするけれどもスタッフの確保もするのでお金はいただく。その状態まで山武市がきているかどうか。

小野崎委員：こども園は大変ではないかと思う。2か月に1度位来ている。ぜひ、教育長は財政に進言する等の検討をお願いしたい。

教育総務課長：今、保健福祉部で協議をしている。

高橋委員：お金をいただくには、それに見合ったものをつくらなければいけない。

小野崎委員：小学校、中学校も同様であると思う。

#### 報告第6号 行事の共催・後援について

教育総務課長：6月1日から6月30日までに承認した、共催10件、後援4件について報告。

#### 報告第7号 8月の行事予定について

出席した各所属長から8月の行事予定について報告。

#### その他（発言順に大要を記載）

- 子育て支援課児童家庭係長：夏季休業中における学童クラブの運営について、資料に基づき説明。通常の学童クラブと異なり、朝8時から開始していることや普段、学童を利用していないが夏休みに限り利用する児童がいること。また、夏の期間限定の指導員もいる。こういった中でいつもと違うメンバー、時間帯での出入りがあるということを学校側にご理解をいただきたいという案内となっている。いずれにしても、通常とは違う体制で学校施設を借りることになるので、ご理解をお願いします。

小川委員：定員を超えているところはどうするのか。

子育て支援課児童家庭係長：一人当たりの必要面積として1.65㎡で保育室のスペースを考えている。ただ、夏休みであるので、家族旅行などで申請した児童が必ずしも毎日通って来ないということで、調整はきくところから日々の人数は超えないようになっている。

小野崎委員：指導員を25人もよく確保することが出来たなと思う。それに対してはうれしく思う。

- 高橋委員：先程の報告第1号のICT環境整備で、ツイキャスというものを知らなかったが、こういう知らないものがいっぱいあって、子どもたちもLINEはよくやっていると思うが、こういう正しい情報を何年生くらいから教えていくのか。これからタブレットも使い始めると思うので。

学校教育課長：実際にタブレットを使って学習するのは、小学校の高学年、4、5年生くらいからになってくると思う。その前に教員そのものが、SNSなどを理解していかななくてはいけないし、先日のNHKの番組でも取り上げられていたが、そういったことをきちんと指導して、また、学校独自に情報モラルの研修会などを行い、子どもたちへの指導というのは、教科以外での部分でも指導は随時している。保護者の集まる機会に保護者の協力を得ていくことが、日常の地道な取り組みになると思う。

高橋委員：子どもたちの方が先を行っている。保護者と先生方が追いついていけるように、頑張っていたきたい。悪いことに使わないようにという指導が大事である。情報としてはいいことであるが、道徳として良いことと悪いことがあるというのを、教えていっていただきたいと思う。

- 学校教育課指導室長：山武市教育委員会ジャーナルについて報告。

小川委員：成東駅であいさつ運動を行ったと報告があったが、いいことをしているのに邪魔だというクレームをつける方もいる。そういう方からのクレームに負けないで継続して行っていただきたい。

- 教育総務課長：教育長報告にあったENJOY CAP代表の滝川氏から「地方いじめの防止等のための基本的な方針」に対する要望書の提出があった件について、要望書の写しを配布させていただいた。内容としては、市のいじめ防止のための基本方針に盛込んでいただきたいというものである。詳しくは、生涯学習課長より報告する。

生涯学習課長：生涯学習課の事業の中にCAP事業がある。公立のこども園、幼稚園の就学前の子どもたちと保護者に、このCAP事業を受けていただいている。この要望があがってくるのと同時期だったが、昨年にいじめ防止対策推進法が施行され、こちらとしては、いじめ防止の対策の一つとして、小学校でも取り入れて行うことを検討してもらえないかということで、先月の校長会で話をした。これは、来年度に向けた予算措置をする関係でお願いした。現在では、松尾小でここ数年、毎年2学年ずつCAP事業をやっていた。今年は大平小もやる予定である。この要望書があがってきたので、来年度に向けて授業の時間をさいてCAP事業ができないか伺ったところ、大富小、南郷小、松尾小、大平小、蓮沼小から、来年度に取り入れたいという回答を得たので、予算が増額になることから財政課

へ予算要求をしているところである。CAPで行っているのは、子どものいじめだけではなく、誘拐、虐待、性暴力という様々な暴力から、自分を守るための実演をCAPの方から教えていただいている。子どもたちには3日間の中で実演をして、最後にCAPの方が、子どもたちから困っていることがいないか聞いている。子どもたちからはCAPの方には言いやすいようで、家のことなどの話がでるようである。保護者にも同じことをする訳だが、保護者の参加者が減ってきているのが現状である。子どもたちに実演したことと同じことを、保護者に対しても行って、子どもの身を守る方法を教えている事業である。費用がかかるので中々増やしていけないが、来年度に向けては市内の私立の保育園3園でも、同じレベルで小1になって欲しいということで、先程の希望があった小学校に加えて予算要求をしていく予定である。

- 教育長：協議事項で、今まで山武市教育行政における協議・検討事項について、各委員からいただいたいろいろな課題等について協議してきた。今回は入っていないが次回以降、協議検討事項を入れさせていただくのでよろしくお願いします。

8. 閉会 午後5時15分